

教 科	国語	科 目	言語文化
単 位 数	2単位	学年・類型	第1学年・全クラス
使用教科書	高等学校 言語文化 (第一学習社)		
補助教材等	学ぼぞ 古文と漢文 (尚文出版)		

1 学習目標

- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができますようにします。
- 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができますようにします。
- 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

2 学習方法

- 連絡した予習課題をして、授業に臨んでください。実践力を養うために、週末課題を出します。家庭学習を充実させましょう。
- 内容を的確に読み取る力を養うため、様々な文章を学習します。古文単語は辞書を使って語句調べをし、現代仮名遣いの確認をして、言語感覚を磨きましょう。

3 学習評価

(1) 評価の観点の趣旨と方法

観点	評価	評 価 の 観 点 の 趣 旨	評 価 の 方 法
知識・技能		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	○授業態度や発表 ○定期考査・課題テスト ○課題やノートのとり方 ○作品の感想文 ○週末課題の内容
思考・判断・表現		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	○授業態度や活動・発表 ○作品の感想や感想文 ○定期考査・課題テスト ○課題やノートのとり方 ○週末課題の内容
主体的に学習に取り組む態度		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。	○授業態度や発表 ○定期考査・課題テスト ○課題やノートのとり方 ○作品の感想文

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、定期考査、課題テスト、小テストなどの成績、ノートや課題などの提出状況、作文や感想文などの評定、授業態度・出席状況、授業中の発表を総合して行います。学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することにより行います。

4 学習のポイント

授業をしっかりと聴くことだけではなく、普段から様々な文章を読むことに挑戦していきましょう。古典分野では、授業ノートを確実に作ることが必須です。また、週末課題をいかに工夫して、自分に役立つ勉強にするのが、成績向上の早道です。地道に勉強を積み重ねていきましょう。実践力を付けるためには、自学自習が大切です。

5 学習計画（予定）

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	〈課題テスト〉 古文の学習	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解します。 ・これからの学習に見通しを持って、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚を持とうとします。
5	児のそら寝	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解します。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えます。 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合います。 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しを持って調べたり説明したりします。
6	漢文の学習 訓読に親しむ 漢文を読むために	・古典としての漢文を読むことの意義を知り、我が国の言語文化についての理解を深めます。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解します。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得します。助字の働きと意味を習得する。再読文字の種類と読み方を習得します。 ・故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにします。
7	漁父之利 狐借虎威 蛇足	・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解します。 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解します。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉えます。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈します。
9	伊勢物語	・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方について理解します。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉えます。
10	〔言語活動〕読み比べる・大和物語	・「東下り」では課題に応じて調査します。 ・「芥川」では絵画資料と、「東下り」では他の章段と、「筒井筒」では『大和物語』の同話と、それぞれ読み比べ、解釈を深めます。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにします。 ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解します。 ・学習課題に沿って異なるテキストと読み比べて、分かったことを積極的に伝え合います。 ・『伊勢物語』の「筒井筒」の段と読み比べて、解釈を深めます。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにします。 ・『伊勢物語』の同話と積極的に読み比べて、『大和物語』の表現の特色について評価します。 ・積極的に読み比べて、『伊勢物語』『大和物語』それぞれの特色や魅力について考察します。
11	自分の感受性くらい (茨木のり子)	・現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品にこめられた作者の批判精神を読み取ります。 ・「～のせいにはするな」という繰り返しを読み解き、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈します。

12	唐詩の世界	・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解します。 ・作者の批判精神を自身に引き付けて受け止め、考えたことを積極的に話し合います。 ・漢詩のきまりについて理解します。 ・唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高めます。
1	平家物語	・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間の在りようを理解します。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えます。 ・作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈します。 ・主として敬語について文語のきまりを理解します。 ・文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しを持って表現や描写・文体の特色を評価します。
2	その子二十	・わが国の伝統文化の1つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わいます。
3	論語	・中国の思想を代表する儒家思想の概略を捉えます。 ・『論語』における孔子の考え方を理解します。